

年間スケジュール(例)

研 究

4月	入学式・オリエンテーション
5月	修士論文テーマ議論
6月	
7月	
8月	修士論文中間報告
9月	
10月	
11月	修士論文中間審査
12月	
1月	
2月	修士論文提出・口頭試問
3月	修了式

工学デザインワークショップ

4月	
5月	ロジカルシンキング
6月	1泊2日合宿
7月	技術の価値化・発表
8月	
9月	
10月	技術調査・発表
11月	
12月	事業提案・発表
1月	
2月	
3月	

入試情報

毎年8月と2月に大学院工学研究科(博士前期課程)の入試を行います。
願書を提出する前に、「受験時期、研究テーマ、指導を受けたい教員」についてご相談ください。(専門分野や研究室の運営状況などに合わせて調整します)

問合せ先 mta-info@lab-ml.web.nitech.ac.jp



出願要件

大学を卒業後、一定の社会的経験を有する社会人で、昼夜間の受講が可能な者
※短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生等でも、出願前に入学資格審査(個人の学習歴や実務経験・国際的活動経験等)を行い大学卒業生と同等以上の学力があると認められた場合は受験できます。

Q&A よくあるご質問とその回答

- | | | |
|--|--|--|
| <p>Q 出願はどのようにすれば良いのでしょうか?</p> <p>A 名古屋工業大学のウェブサイトに掲載されている募集要項に従って出願ください。出願期間は、8月入試の場合は7月中、2月入試の場合は1月中に締切があります。</p> | <p>Q 文系学部卒業ですが、入試を受けることは可能でしょうか?</p> <p>A 当該コースでは、幅広い分野からの人材を募集しており、過去の修了生には文系学部卒の方もいます。ただし、大学院の授業は工学に関する基礎をある程度理解していることを前提としています。</p> | <p>Q 業務の関係で昼間の授業には参加できないのですが、授業は昼間のみでしょうか?</p> <p>A いいえ、土日集中講義及び夜間に開講する授業を設けますので、それらで必要単位数を確保できます。</p> |
|--|--|--|

入試に関する問合せ先

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 入試課
TEL 052-735-5083 FAX 052-735-5084 Email nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp



INNOVATION PROGRAM

名古屋工業大学大学院工学研究科工学専攻 社会人イノベーションプログラム

20世紀の産業は「より質よく・より安く・より迅速に」を基本的な価値観として進んできました。その結果、様々なハードウェアとソフトウェアが出揃いました。今日でもそれらを進歩させることが極めて重要なことは言うまでもありません。

しかし21世紀の産業には、それらのハード・ソフトの力を社会の問題解決に向けていかに革新的に活用するかという新たな焦点が加わりつつあります。各企業は技術力を刷新するとともに、未来を見据えた技術を可視化する方法論がますます必要になります。

名古屋工業大学大学院工学研究科工学専攻社会人イノベーションプログラムは、まさにこうした喫緊のニーズに答えようとする社会人向け教育プログラムです。

イノベーションのための5つの能力を育成する

- ①次世紀まで生きるビジョンを定める「想像力」
- ②ビジョンから得られる社会価値をモノ・コトづくりを通じた体験価値で具現化する「デザイン力」
- ③工学的知見に基づいて試行と改善を繰り返していく「実践力」
- ④新産業創出につながる「戦略性と企業家精神」
- ⑤多様な視点を持つ異分野の専門家による分野横断的な活動を先導し促進できる「協調性とリーダーシップ」

ものづくり産業の発展に貢献する

- ・リーダー育成
- ・イノベーター育成
- ・政策立案者育成

INNOVATION PROGRAM
名古屋工業大学大学院工学研究科工学専攻
社会人イノベーションプログラム

社会人イノベーションプログラムのメリット

MERIT
1

夜間講義および土日集中講義を中心に
1年間で修士号を取得できる



MERIT
2

所属する機関の課題を持ち込み、
研究テーマとして指導を受けられる



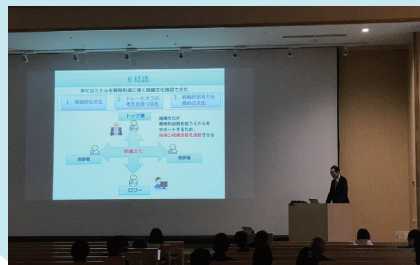
MERIT
3

技術を深め社会に貢献する本質的な
考え方・思考技術を習得できる

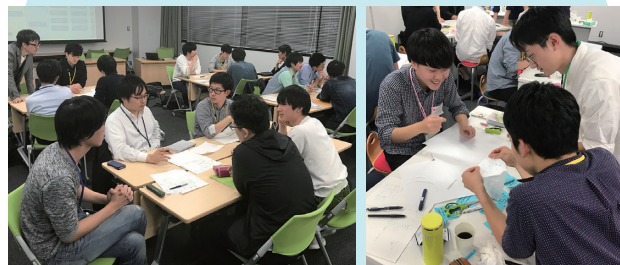
短期間で修士号を取得できる
高密度な教育体制



多様な専門分野の教員とともに
発表スキルや発想法を習得



一般学生との共学環境



本コースは、厚生労働省の教育訓練給付金制度（専門実践教育訓練給付）に認定されており、一定の条件を満たした場合、最大受講料の80%（条件あり）の給付が受けられ、入学金と授業料の実質的負担は約半以下となります。 <https://www.mhlw.go.jp/content/001310413.pdf>
また、本コースは文部科学省の職業実践力育成プログラム（BP）の認定も受けています。 https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/

授業科目

共通科目／技術系ベンチャー構築論、イノベーション人材論など

専門科目／経営管理特論、品質管理特論、マーケティング特論、技術戦略特論、戦略原理特論、イノベーション特論
工学デザインワークショップ、技術プレゼンテーション、メディア情報システム特論など

工学デザインワークショップ

技術の価値化に関する方法論をグループワークを通じて徹底的に学びます。さらに社会人学生と様々な分野の一般学生・教員が1つのグループをつくり、社会人学生の研究テーマを課題に議論します。これにより、方法論を学ぶだけでなく、自身の研究における問題設定の妥当性や解決方法の実現可能性について様々な視点から検討することができ、実践的な知見が得られます。

- ・自身の研究テーマを深堀するためのロジカルシンキング（ピラミッド法、イシューツリー）
- ・事業提案に向けて可能性を探るための手法（バリューブリッジ）

ほか、観察（エスノグラフィ）、技術調査、バックキャスティング、ビジョン作成、ファシリテーション、デザインスケッチ等

修了生の声



自らの世界を拡げるチャンスに

浅田 仁志 氏（2021年3月修了）
トヨタ自動車㈱

実務の枠を超えた学び直しの必要性を強く感じ大学院に進学しました。様々な専門領域から先生方が集まり、多様なバックグラウンドを持つ社会人学生や一般学生が共に議論できる刺激的な場が印象的でした。社会人も修学しやすい環境が整っており、在学中のみならず修了後も参加できるイベントなどが用意されているのも大きな魅力だと感じます。現在は修士研究を基にした博士研究で自身の新たな世界を切り開いています。



実務経験より工学専門領域での理論と知識をアップデート

山口 修史 氏（2023年3月修了）
㈱デンソープレステック

自動車部品の量産設計の分野で我武者羅に働いてきましたが、もっと専門知識を学びたいと上司へ相談したところ、本学の教授（後に指導教員）を紹介して頂きました。当初は既存製品の課題解決を研究するつもりでしたが、本コースでの学びを通して「新規性と進歩性のある新工法」へと研究テーマと変えました。その研究成果は学術論文として発表できただけでなく、現在、数百万台の車に使用されています。このコースは全力で勉強と研究に打ち込める最高の環境でした。



自己効力感と前向きな挑戦

笹尾 起美仁 氏（2025年3月修了）
アドバンス電気工業㈱

在学中の10月、環境パネルで欧州議員らに“行き過ぎた環境規制”について訴える自分がいました。進学前では考えもしない依頼でした。“ストーリーテラー型のプレゼンテーション”、“ファシリテーショングラフィック” 私はこのプログラムで自分の強みと共感の大切さを知りました。これから私が取り組む新製品、新規事業が社会、経済、環境、政治にどんなインパクトを与えるのか、今からワクワクしています。



恵まれた環境でイノベーションを考え抜いた1年間

加藤 慎啓 氏（2025年3月修了）
セントラル硝子㈱ 基盤化学研究所

企業との連携が豊富な教員陣や著名な外部講師による授業は、知識習得と実践力の醸成を目的とした洗練された内容でした。私は修士研究でもイノベーションをテーマにし、隣接する民間のインキュベーションセンターでのイベントに参加したり、同期の社会人メンバーと授業外でもディスカッションを行ったりと、製造業が集積する中部地域の恵まれた環境で学ぶことができました。片道約2時間の通学時間も活用して考え抜いた知見を、企業での成果に結び付けていきたいと思っています。